








目次

タイトル	主な作物	傾斜区分	土地改良事業	政策課題Ⅰ				政策課題Ⅱ			政策課題Ⅲ		その他				農村協働力の発揮 「中心的な存在」 (その他の関係者)	所在地	頁	
				高収益作物	6次産業化	集積集約化	法人化	地域資源保全	美しい農村	再エネ等	水利施設	防災・減災力	輸出	次世代	外部人材	女性				
21	地域の共同活動が生産組織の発展と地域運営体制の構築に寄与	水稻	緩 	区画整理 用水施設		○	○	○	○	○	○			○		○	○	区長会 (青年クラブ、農家等)	福井県 小浜市	41
22	中山間地域の基盤整備により女性が活躍できる場の創設	水稻 野菜	緩 	区画整理 用排水路 農道	○ いちご			○	○		○					○	市 (県、農家、JA)	岐阜県 瑞浪市	43	
23	汎用化した水田を活用し、景観形成を通じた地域の活性化	水稻	平坦 	用排水路 排水施設					○		○						集落代表者と 農業委員会	愛知県 刈谷市	45	
24	地域資源を活用した農村体験による交流人口の増加	水稻 野菜	緩 	小水力発 電施設 用水施設		○			○	○	○						地元区長 (改良区)	三重県 多気町	47	
25	歴史遺産を活かしたブランド化による生きがい農業の実現	水稻 野菜	平坦 	区画整理 用排水路 農道	○ ねぎ マンゴー	○	○	○	○		○			○	○	○	若手農業者	滋賀県 近江八幡市	49	
26	法人を軸とする多面的機能支払活動組織による集落支援活動の展開	水稻	緩 	用水路等 保全				○	○							○	商社を早期退職 した営業マン	京都府 福知山市	51	
27	基盤整備が可能にしたなにわ伝統野菜など少量多品目作付による周年出荷	野菜 果樹	緩 	農地造成 用排水路 農道	○ いちじく 大根 等	○	○	○			○					○	農業委員や改良区の 営農委員	大阪府 河南町	53	
28	中山間地域における都市農村交流を契機とした地域の活性化	水稻	平坦 	区画整理 農道 排水路					○		○						多面的機能支払の 活動組織 (学校法人関係者)	兵庫県 宍粟市	55	
29	ほ場整備を契機とした集落営農により活性化した農村地域	水稻	急 	区画整理 農道 排水改良	○ しそ ねぎ 等		○	○								○	町(地元農家)	奈良県 五條市	57	
30	基盤整備・共同活動により次世代に残す天野の里づくり	水稻	急 	区画整理 用排水路 営農改善用 水施設					○	○	○					○	集落の区長、 改良区役員	和歌山県 かつらぎ町	59	

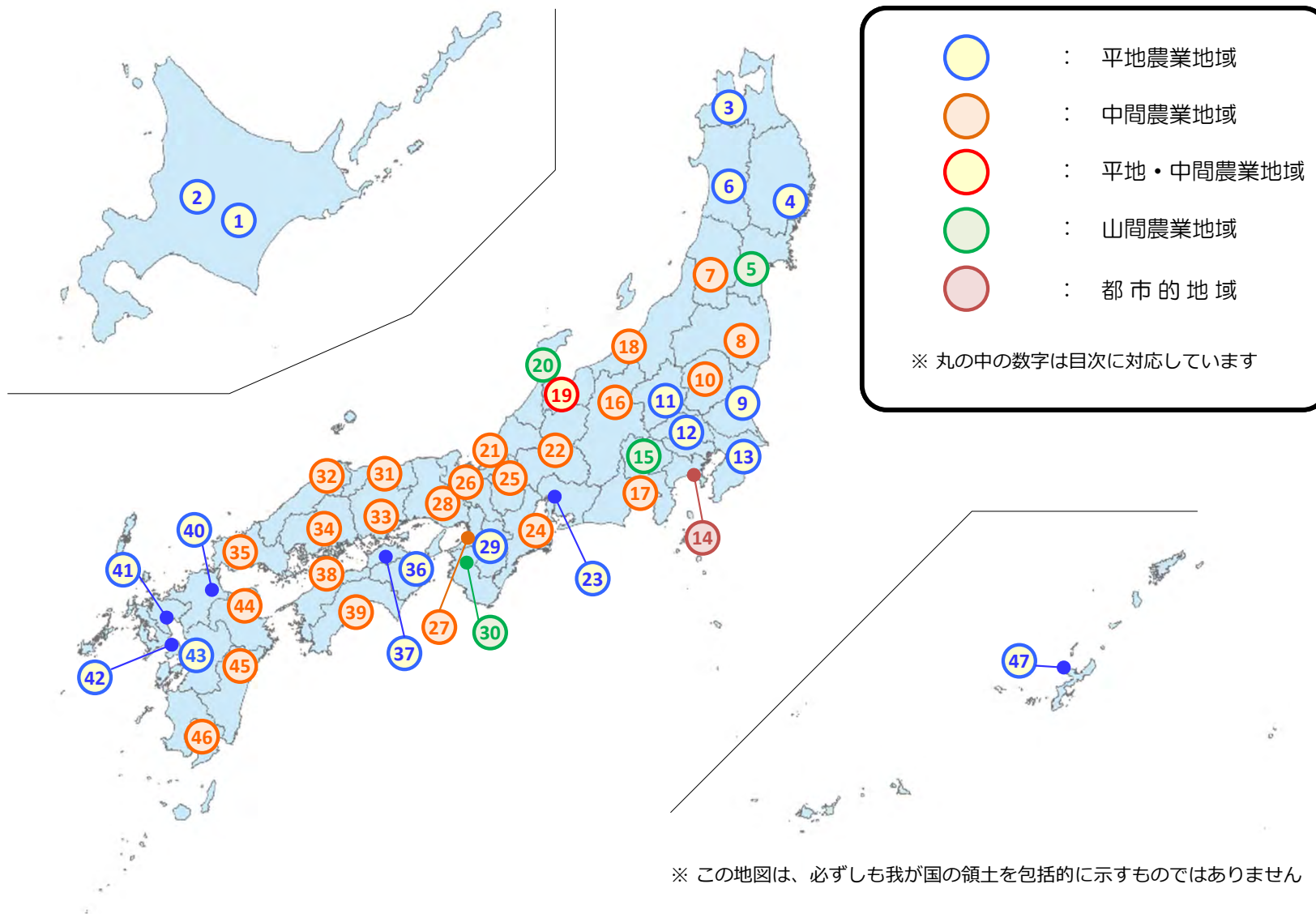
目次

タイトル	主な作物	傾斜区分	土地改良事業	政策課題Ⅰ				政策課題Ⅱ			政策課題Ⅲ		その他				農村協働力の発揮 「中心的な存在」 (その他の関係者)	所在地	頁
				高収益作物	6次産業化	集積集約化	法人化	地域資源保全	美しい農村	再エネ等	水利施設	防災・減災力	輸出	次世代	外部人材	女性			
31	船岡は地方創生の先進地！皆で力を合わせ地域を元気に	水稲 野菜	緩 	区画整理 農道 農業集落 排水施設		○		○	○						○		県、町、農協	鳥取県 八頭町	61
32	基盤整備を契機とした新たな取り組み 耕畜連携の推進	水稲 野菜	平坦 	区画整理 地下かん がい施設			○	○	○								集落営農組織の 関係者	島根県 安来市	63
33	ぶどうの「ハイブリッド生産団地」を 核とした地域振興	果樹	平坦 	畑かん	○ ぶどう		○						○	○	○		町 (JA、農業公社等)	岡山県 吉備中央町	65
34	ほ場整備を契機とした「豊かな自然環境」 を活かした地域づくり	水稲 野菜	緩 	区画整理 用排水路 農道	○ アスパラ ガス等	○	○	○	○	○		○					営農組合長 (個別農家、地権者等)	広島県 世羅町	67
35	農地整備と集落営農法人設立を両輪と した中山間地域農業の取組	水稲 果樹	緩 	区画整理 用排水路 農道	○ なし リンドウ 等		○	○	○			○		○	○		「地域の農業農村を 考える会」会長	山口県 美祢市	69
36	地域の連携による農村環境の保全	野菜	平坦 	排水路 農道					○	○		○					地区の農業者 (県、市、自治会、消防 団、小学校PTA等)	徳島県 鳴門市	71
37	基盤整備を契機とした農村生活環境改 善による地域の活性化	水稲 野菜	緩 	区画整理 農道	○ ブロッコ リー		○	○	○						○		水利組合総代 (多面的機能支払活動 組織)	香川県 綾川町	73
38	基盤整備を契機とした山の果物屋さん の挑戦	野菜 果樹	平坦 	区画整理 農道	○ ぶどう トマト 等	○	○	○									地元営農部会 (地区総代、住民等)	愛媛県 今治市	75
39	簡易な基盤整備を契機としたトマト生 産拡大による地域活性化の実現	野菜	平坦 	区画整理 用排水施設 農道	○ トマト	○	○					○			○		村 (県、JA)	高知県 日高村	77
40	建設業から農業への本格参入と高収益 作物の導入推進	水稲 野菜	平坦 	区画整理 排水改良	○ レタス ブロッコ リー 等			○	○							○	農業委員・農事組合長 を兼任する自治会長 (地元建設業者による 農業法人)	福岡県 築上町	79

目次

タイトル	主な作物	傾斜区分	土地改良事業	政策課題Ⅰ				政策課題Ⅱ			政策課題Ⅲ		その他				農村協働力の発揮 「中心的な存在」 (その他の関係者)	所在地	頁	
				高収益作物	6次産業化	集積集約化	法人化	地域資源保全	美しい農村	再エネ等	水利施設	防災・減災力	輸出	次世代	外部人材	女性				
41	水田の汎用化と高収益作物の導入によりキラリと輝く地域へ	水稲 野菜	平坦 	用排水路 農道 区画整理	○ キャベツ 等		○	○									○	12の営農組合	佐賀県 嬉野市	81
42	高収益作物への転換と産地形成までの取組	野菜	平坦 	区画整理 畑かん	○ ブロッコリー				○									地域の農家、 JA、市、県等	長崎県 雲仙市	83
43	玉ねぎの周年作付けにより地域の所得を向上	水稲 野菜	平坦 	排水施設 区画整理 農道	○ たまねぎ		○					○						地元農家 (後に県農業会議会長)	熊本県 熊本市	85
44	地域の農地は地域で守り、後継者が育つ集落営農	水稲 野菜	緩 	区画整理 用排水路	○ こねぎ さといも			○				○						自治区、農事組合法人 (県、市、JA、市農 業公社)	大分県 国東市	87
45	山腹用水路等（世界農業遺産）の継承と農村集落機能の強化	水稲 果樹	急 	小水力発 電施設 用水施設		○			○	○	○	○	○					土地改良区	宮崎県 日之影町	89
46	地域資源の活用と多様な主体と連携した地域活性化	野菜	緩 	区画整理 農道	○ かんしょ	○			○					○	○	○		農業後継者 (青年部、若手女性)	鹿児島県 垂水市	91
47	水源確保と畑地かんがい施設整備の推進による「水あり農業」で離島振興	野菜 花き	平坦 	ため池 地下ダム 畑かん	○ かんしょ 菊	○			○								○	地域農業者、村 (集落代表、JA、 普及センター)	沖縄県 伊江村	93

■ 位置図



- 国営農地再編整備事業による大区画化等と合わせて、大型機械やキャベツ収穫機等を導入し、収益力を向上。
- さらなる効率化に向け、キャベツ収穫機等のロボット化に向けた産官学共同研究を推進。
- 省力化を活かしつつ、交流人口の拡大に向け、農泊の取組を推進。

地区の特徴

平地地域

野菜

キーワード

高収益作物

6次産業化

集積・集約化

法人化

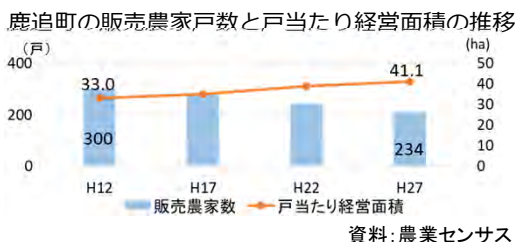
取組前

農業生産の効率化が課題

【営農規模】2,045ha
【作目】畑作物、飼料作物等
【農業生産額】156億円 (H20:町全体)

<課題>

- 農家戸数の減少による戸当たり経営規模の拡大により、手間を要する野菜等高収益作物の作付けが拡大できない



- また、ほ場の形が排水路等で分断され不整形で、排水不良のため、効率的な農作業に支障



取組内容

大区画化及び排水性の改善

国営農地再編整備事業 (H21~30)
整形化・大区画化、暗渠の整備等による排水改良



コントラクター組織の強化

● 大型機械の導入が可能となり、飼料作物の収穫を中心にコントラクターの利用が拡大し装備を充実



産地間の連携によるリレー出荷

● キャベツの通年安定供給に向け、静岡宮崎の産地とリレー出荷体制を確立し、販路を拡大

農泊の推進

● H29に農山漁村振興交付金を活用し、地場産食材を提供するカフェ及び宿泊施設の、「トマルカフェ鹿追」を整備



取組後

基盤整備と地域の取組が一体となった収益力の向上

【営農規模】2,077ha
【作目】畑作物、飼料作物、キャベツ等
【農業生産額】242億円 (R1:町全体)

【鹿追町におけるキャベツの生産拡大】



【キャベツ収穫自動化に向けた取組】

- さらなる効率化及び作付拡大を目指すし、キャベツ収穫機等のロボット化に向けた産官学共同研究を推進



【酪農経営の規模拡大】

- コントラクター利用の拡大、ふん尿処理の省力化等により酪農家の規模拡大が可能に



【交流人口の増加】

- 農泊の推進により、宿泊や農業体験の利用者数増加等、交流人口を拡大

